

登録医 NO.113

ドクター訪問

泉佐野おかざきクリニック

北岡 文 先生

PROFILE

大阪府生まれ。市立岸和田市民病院への入職をきっかけに岸和田市へ。趣味の一人カラオケは多忙にてなかなか行けない日々が続いているそう。



地域の皆さんが、より健やかに暮らせるよう力になりたい

泉州地域の健康を支える「泉佐野おかざきクリニック」で、呼吸器内科専門医としてご活躍中の北岡文先生。肺炎や気管支炎などの一般的な疾患から気管支喘息、咳喘息、慢性閉塞性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群といった専門的な疾患まで幅広く対応されています。特に呼吸器リハビリテーションや栄養療法に関する知見が深く、市立岸和田市民病院や岸和田リハビリテーション病院での勤務を通して培われた豊かな経験と広い視野が北岡先生の魅力です。初めてのクリニック勤務では、「患者さんとの距離が近く、小さな困りごとにも気軽に相談に来てくださる方が増えて嬉しい」とやりがいを実感。また、看護師や事務職員などのメディカルが気づく小さな変化などもしっかり見逃さず、チーム医療を大事にしながら診療に励んでおられます。

小中学時代は運動が苦手で、「私はバリバリの文系」と思い込み、高校3年までは人の役に立てる仕事として弁護士を目指されていた北岡先生。ところが、授業の一環で裁判を見学したことが自身の進路を再考するきっかけになります。「もともと病院という場所や医療には興味がありましたが、文系の自分には医学の世界は無理だと思い込んでいました。進路を再考するにあたって、本当にしたい仕事は病気の人を楽にしたり、病気にならないようサポートしたりする、医師という仕事だと考え直しました」。

最終的には奈良県立医科大学へ進学されますが、入学までの道のりは平坦ではありませんでした。「高校3年生の秋に文系から理系へという大幅な進路変更したこともあり、当然の如くスムーズには医学部合格とは行きませんでした。両親が応援してくれたおかげで今

があります。浪人時代にさまざまなバイトで経験したことも仕事に生きているんですよ。工場でのライン作業や湯葉工場で湯葉を作るお仕事なども経験しました。スムーズに大学進学していれば経験できなかったことかもしれません」と笑顔で話されます。

医学生時代に見学で訪れた際、雰囲気の良いさに惹かれた市立岸和田市民病院に研修医として入職し技術と知識を研鑽。中でも、スペシャリストが揃う呼吸器内科では手厚い指導を受け、その奥深さに魅了され専門分野に選ばれました。キャリアを重ねる中で、けがや病気を未然に防ぐ予防医学の大切さに改めて気付かれ、長期的に患者さんに寄り添い、健康状態を見守れるクリニックで経験を積むことを決意。2024年に「泉佐野おかざきクリニック」へキャリアチェンジされました。「今はまだ発症してしまった病気に対する治療が主体ですが、病気にならないため、健康寿命を伸ばすための医療を提供できることも目指しています」。これまでの様々な経験を生かしながら、今後も地域医療の発展に尽くされます。



◀ スパイロメータ

内装の雰囲気 ▶



● 泉佐野おかざきクリニック

〒598-0071
大阪府泉佐野市鶴原
1丁目2-20ふたつ星ビル4階



詳細情報は
こちら！